

講義名	対)研究演習		
講義コード	45415	授業形態	
担当教員	岸野 啓一	備考	

学部・学科	演習分野
全学部・全学科	交通まちづくり入門

<p>概要説明</p> <p>人々の暮らしや様々な経済活動を支えるため、「交通」は重要な役割を果たしています。また、便利で、快適で、円滑で、安全な交通サービスを提供するには、質の高い「交通計画」が欠かせません。このゼミでは、研究演習 に引き続き、次の事項について取り組んでいきます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 専門書や入門書をみんなで読んで、交通計画や交通まちづくりの基礎知識を身に付けること</li> <li>2) 現地でデータ収集や実態調査を行い、交通の現状を肌で感じ取ること</li> <li>3) 収集したデータの解析などを行い、交通計画に関する知見を深めること</li> <li>4) 解くべき課題を見つけ、解決方法を考える力をつけること</li> </ol> <p>2020年度の研究演習 では、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 観光地交通計画に関する文献の輪読輪講</li> <li>2) 奈良県吉野山における観光期交通対策に関する説明</li> <li>3) 奈良県吉野山の現地視察を行いました。</li> </ol> <p>研究演習 では、次の点について取り組みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 2022年度観光期吉野山のシャトルバス輸送等に関する考察（前期） <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地で得られたデータの集計・分析</li> <li>・それに基づく観光期吉野山の交通問題の整理</li> </ul> </li> <li>これらをグループスタディの形式により、集計・分析 課題整理 改善点などの検討という手順で進め、得られた成果を発表し、ディスカッションすることを通じて、理解を深めていきます。</li> <li>2) 個別テーマに関する研究（後期） <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究テーマの設定</li> <li>・既往の研究のレビューや研究を進めるためのデータ収集など</li> </ul> </li> </ol> <p>めいめいの研究テーマを設定し、卒業研究の準備を兼ねて、関連する文献などをレビューします。テーマによっては、現地調査を行うなどして、研究のためのデータ収集を行います。</p>
---

<p>主な卒業論文のタイトル</p> <p>2020年度から担当していますので、まだ卒業論文の実績はありません。</p>
--

<p>教員よりの要望</p> <p>研究演習 でもお話ししましたが、常に前向きに物事を考えることが、このゼミのモットーです。多少の困難や問題があってもポジティブに捉え、「できる方法」を見つける気概を持った人は歓迎です。  × わずかな困難や問題に対してもネガティブに捉え、「できない理由」を並べて前に進もうとしない人は苦勞されると思います。</p> <p>個別の研究という「難しい」というイメージが先行するかもしれませんが、コツコツと手順を踏んで進めていき、振り返れば相応の成果ができていたという具合に進めたいと考えています。</p> <p>なお、研究演習 は対面授業のみで実施します。</p>
---

<p>選考方法</p> <p>基本的に、研究演習 から本ゼミに所属していた学生を受け入れます。</p> <p>編入、定員に余裕がある範囲内で受け入れます。編入について、選考は書類と面談により行います。教務部の指示に従ってコンタクトして下さい。</p>
---

<p>評価方法</p> <p>ゼミの活動に対する評価（発表内容、レポートの内容）を50点  ゼミにおける積極性や貢献度（ディスカッションでの発言、グループスタディでのリーダーシップなど）を30点  出席状況を20点  合計100点として評価します。</p>				
<table border="1"> <tr> <td>教員英字氏名</td> <td>研究室</td> </tr> <tr> <td>Keiichi Kishino</td> <td>棟 7階 2702研究室</td> </tr> </table>	教員英字氏名	研究室	Keiichi Kishino	棟 7階 2702研究室
教員英字氏名	研究室			
Keiichi Kishino	棟 7階 2702研究室			
<p>最終学歴</p> <p>神戸大学大学院 工学研究科 博士課程後期課程修了</p>				
<p>学位</p> <p>博士（工学）</p>				
<p>主な研究活動・社会活動・研究業績</p> <p>[研究テーマ]  観光地やイベントの交通対策  （検討プロセスの体系化、需要マネジメントの方法論、効果検証、対策の評価など）  人口減少社会における公共交通計画  [研究業績]  （1）著書  バスサービスハンドブック（共著・編集幹事、2006年、土木学会）  地域でつくる公共交通計画・日本版LTP策定のてびき -（共著、2010年、国際交通安全学会）  （2）論文  岸野啓一、中尾司：トラフィックカウンターデータに基づく観光入込客数の推計、第8回都市交通政策・観光・交通行動研究に関する国際セミナー、2017。  岸野啓一：自治体による広域的な生活交通の確保方策に関する課題について、土木計画学研究・講演集、Vol.55、2017。  岸野啓一、高本恵三：活動機会を考慮したコミュニティバスの運行計画に関する実証的研究、第34回交通工学研究発表会論文集（研究論文）、2014。  など  [社会活動]  ・国際協力機構（JICA）国際研修・社会資本整備コース講師（1996年～現在）  ・生駒市地域公共交通活性化協議会アドバイザー（2011年～現在）  ・西宮市公共事業評価委員会会長（2019年～現在）</p>				
<p>趣味・特技</p> <p>[特技] 楽器（トロンボーン）の演奏。若い頃は学生オーケストラ、市民オーケストラで活動。現在は休眠中。  [趣味] クラシック音楽を聴くこと。鉄道に乗ること。ドライブすること。数学と戯れること。</p>				
<p>所属</p> <p>経済学部経済学科</p>				
<p>所属学会</p> <p>土木学会、日本都市計画学会、交通工学研究会、日本福祉のまちづくり学会</p>				
<p>専門分野</p> <p>総合交通計画、公共交通計画、交通需要予測、観光地交通計画</p>				
<p>担当科目</p> <p>地域まちづくり概論、都市交通計画、地域再生論、社会経済分析、行政学、地方行政論、公務員特別演習、研究演習、卒業研究、空間市場分析特論（大学院）</p>				
<p>備考</p>				
<p>実務経験の有無及び活用</p> <p>実務経験あり。関係者の了解が得られる範囲で、実務の成果や得られたデータをゼミの題材として活用。実務の現場でフィールドワークを実施。</p>				